

## 愛知芸術文化センター 小ホール

### ままごと

『日本の大人』

愛知県出身の劇作家・演出家である柴幸男が、「子どもの時間」の延長線上にある「大人の時間」「大人の姿」を描き出す。大人も子供も楽しめる委嘱新作。



『朝がある』 photo: 青木司

世界初演

8月10日(土) 11:00~15:00~  
8月11日(日) 11:00~15:00~  
8月12日(月) 19:00~  
8月13日(火) 15:00~19:00~  
8月14日(水) 19:00~  
8月15日(木) 11:00~15:00~

前売3,000円  
当日3,500円  
学生1,000円  
小学生以下500円

6/29  
発売

### イリ・キリアン

『East Shadow』

天才的な振付家キリアンが、東日本大震災に心を痛め、ベケットに材を得て創作した新作ダンス。ジェイソン・アキラ・ソノマ(映像)、向井山朋子(ピアノ)らが参加する。



courtesy of the Kylian Foundation

世界初演

9月14日(土) 19:00~  
9月15日(日) 19:00~  
9月16日(月・祝) 19:00~

前売6,000円  
当日6,500円  
学生3,500円

7/27  
発売

### 藤本隆行+白井 剛

『Node/砂漠の老人』

舞踏家の吉本大輔をはじめ、川口隆夫、平井優子、カズマ・グレンらが出演。舞踏、コンテンポラリーダンスとデジタルテクノロジーを融合したマルチメディアパフォーマンス。



photo: Hideto Maezawa

劇場版 世界初演

8月23日(金) 19:00~  
8月24日(土) 14:00~  
8月25日(日) 14:00~

前売4,000円  
当日4,500円  
学生2,500円

6/29  
発売

### アルチュール・ノジシエル (オルレアン国立演劇センター)

『L'IMAGE』

ベケットによる同名の掌編小説をテキストとして用いた朗読+ダンスパフォーマンス。朗読はルー・ドワイヨン、ダンスはダミアン・ジャレ、音楽はウィンター・ファミリー。



Photo © Christian Lartillot

日本初演

9月22日(日) 19:00~  
9月23日(月・祝) 14:00~

前売3,000円  
当日3,500円  
学生1,000円

7/27  
発売

### やなぎみわ

『ゼロ・アワー』

東京ローズ最後のテープ』

日本軍謀略放送の女性アナ「東京ローズ」をめぐる物語。「声というアーカイブの亡霊」をテーマに、サミュエル・ベケットの『クラブの最後のテープ』を織り込んだ演劇作品。



photo: 木村三晴

新作

8月30日(金) 19:00~  
8月31日(土) 14:00~18:00~  
9月1日(日) 14:00~

前売4,000円  
当日4,500円  
学生3,000円

6/29  
発売

### 清水靖晃+カール・ストーン

『Just Breathing』

サクソフォンとコンピューターによって展開される「インテュイプロヴィゼーション(直感即興演奏)」。『呼吸』をテーマに、時間、空間、聴衆とのインタラクションを追求。



photo: 小西康夫

photo: 野田茂則

9月28日(土) 18:00~

前売4,000円  
当日4,500円  
学生2,500円

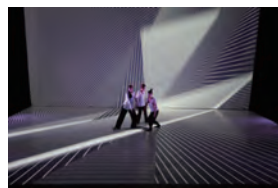
7/27  
発売

### 梅田宏明

『4. temporal pattern』

『Holistic Strata』

アジア各国の伝統舞踊ダンサーによる前者は、梅田の振付プロジェクト「Superkinesis」の4作目。後者は前回大好評だった、光・音の表現を伴う梅田自身のソロ・ダンス。



『4. temporal pattern』 S20

日本初演

※『4. temporal pattern』のみ

9月6日(金) 19:00~  
9月7日(土) 14:00~19:00~  
9月8日(日) 14:00~

前売4,000円  
当日4,500円  
学生2,500円

6/29  
発売

### ARICA+金氏徹平

『しあわせな日々』

ベケットの代表的戯曲のひとつを注目の劇団が新訳で上演。主演女優がなぜか腰まで埋まる円丘の舞台美術を、国際的に活躍する現代アーティスト金氏徹平が設計する。



『恋は闇/LOVE IS BLIND』2012年  
photo: 宮内勝

新訳初演

10月12日(土) 18:00~  
10月13日(日) 18:00~  
10月14日(月・祝) 14:00~

前売4,000円  
当日4,500円  
学生2,500円

7/27  
発売

## 愛知芸術文化センター 小ホール

### ジェコ・シオンポ

『Terima Kos (Room Exit)』

ヒップホップ、伝統舞踊、コンテンポラリーダンスから動物の動きまでを融合させて、新しいスタイルを確立したジェコの代表作。待望のカンパニー日本初公演。

10月18日(金) 19:00~  
10月19日(土) 14:00~  
10月20日(日) 14:00~

前売4,000円  
当日4,500円  
学生2,500円

日本初演

キッズワークショップ開催



『Terima Kos(Room Exit)』

7/27  
発売

### マチルド・モニエ

『ピュディック・アシッド』  
/『エクスタシス』

ジャン・フランソワ・デュルルールとの協働により創作されたモニエ初期の2つのデュオ。2011年に再振付バージョンが上演された仏コンテンポラリーダンスの代表作が今に蘇る。

10月26日(土) 18:00~  
10月27日(日) 14:00~

前売4,000円  
当日4,500円  
学生2,500円

日本初演

ダンスワークショップ開催



©Marc Coudrais

7/27  
発売

## 愛知芸術文化センター 小ホール周辺

### サミュエル・ベケット

『クウッド』

ベケットが晩年に創った実験的なテレビ作品。マントに身を包んだパフォーマー4人が、規則性に基づいて早足で歩き続ける。哲学者ドゥルーズ曰く「空間の消尽」。

8月10日(土)~10月27日(日)

無料

## 愛知県美術館 ギャラリーG

### ペーター・ヴェルツ +ウィリアム・フォーサイス

『whenever on on on nohow on | airdrawing』

ソロで踊るフォーサイスを5台のカメラで捉え、5チャンネルビデオで見せる巨大な映像インスタレーション。タイトルはベケットの『いざ最悪の方へ』に由来する。



『whenever on on on nohow on | airdrawing』  
Five channel video installation 2004, edition 5 + 2 AP  
Installation view Museum für Moderne Kunst MMK, Frankfurt  
photo: Klaus Peter Hoppe  
courtesy of the artist, Peter Welz | Studio

8月10日(土)~10月27日(日)

国際美術展チケットにて入場可

日本初公開

## 岡崎地区 康生会場

### 向井山朋子 +ジャン・カルマン

『FALLING』

同じく『いざ最悪の方へ』に着想した、歴史と記憶、生と死と再生をめぐる小さな旅。多数のピアノと樹木に囲まれたパフォーマンス/インスタレーション。

8月10日(土)~10月27日(日)

世界初演



photo: Philip Machanicus  
photo: 向井山朋子

未定

## オアシス21

### プロジェクトFUKUSHIMA! (総合ディレクション:大友良英)

『フェスティバルFUKUSHIMA  
in AICHI!』

福島出身/在住の音楽家や詩人を代表として立ち上げられたプロジェクト。参加型ライブ『オーケストラFUKUSHIMA!』のあいち版上演など、オアシス21を祝祭空間に。

9月7日(土)~9月8日(日)

親子ワークショップ開催



『オーケストラFUKUSHIMA!』2011年8月  
photo: 藤井光

無料

## 長者町会場周辺

### ほうほう堂

『ほうほう堂@おつかい』

長者町を中心に、人々の記憶を掘り起しながら創った新作ダンスパフォーマンスと、リアルタイムのUstream中継。見慣れたまちの風景が、まるで違って見えてくる。

9月21日(土)~9月22日(日)

新作

キッズワークショップ開催



無料

## 愛知芸術文化センター 小ホール公演 チケットについて

### チケット取扱窓口

芸文プレイガイド(愛知芸術文化センターB2F)

チケットぴあ

あいちトリエンナーレ公式ホームページに、チケットぴあ「特設サイト」へのリンクを設けますので、そちらからも購入いただけます。

### 発売日

前期6月29日(土)午前10時~/後期7月27日(土)午前10時~

その他詳細は、公式ホームページにてご確認ください。

日程等掲載情報は現時点での予定であり、変更することがあります。